

特別講演

演題：困ったところに手が届く3つの皮膚科漢方

講師：もりはら皮膚科クリニック 森原 潔 先生

皮膚疾患における「白虎加人参湯」、「黄連解毒湯」、「十味敗毒湯」という漢方薬の使い方を講演しました。痒みを止めるには皮膚を冷やすことが一番ですが、白虎加人参湯は、体内の熱を冷ます効果があり、痒みを伴う皮膚疾患に頻用されます。黄連解毒湯は、抗菌作用を有するため化膿性疾患に用いられ、抗炎症作用をねらってアトピー性皮膚炎や痒疹、尋常性乾癬などに使われたりします。十味敗毒湯は、近年エストロゲン刺激作用が多く報告され、月経前に悪化する皮膚疾患に広く用いられます。初学のうちは漢方の世界にありがちな「証（病気や体質を特徴づけるパターン）」にとらわれすぎず、まずは自由に試してみることが大切です。